第２章　高齢者などの現状

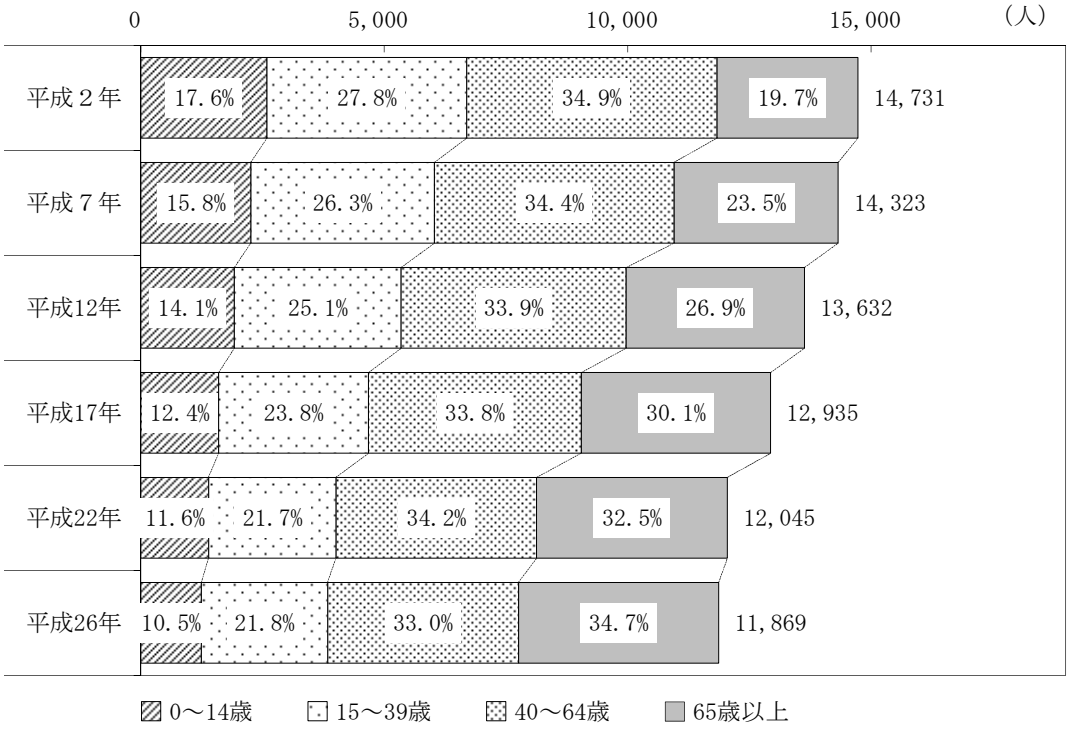
１　人口構造

(1)　人口の推移

平成26年４月１日の八百津町の総人口は11,869人です。国勢調査による総人口の推移をみると、５年ごとに200～900人減少しています。

年齢別の構成比率をみると、０～14歳人口および15～39歳人口が低下し、65歳以上人口の割合が大きく上昇を示しています。40～64歳人口は33～34％台でほぼ一定の割合で推移しています。

図表２－１　人口の推移



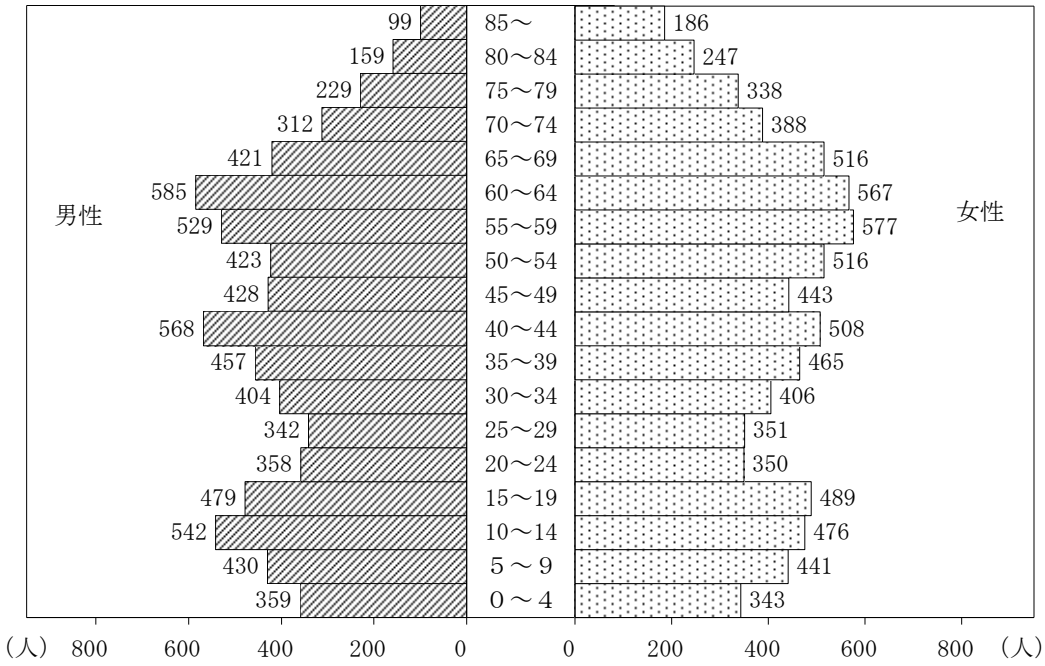
資料：平成２年～平成22年は「国勢調査」、平成26年は４月１日現在の住民基本台帳人口

(2)　人口ピラミッド

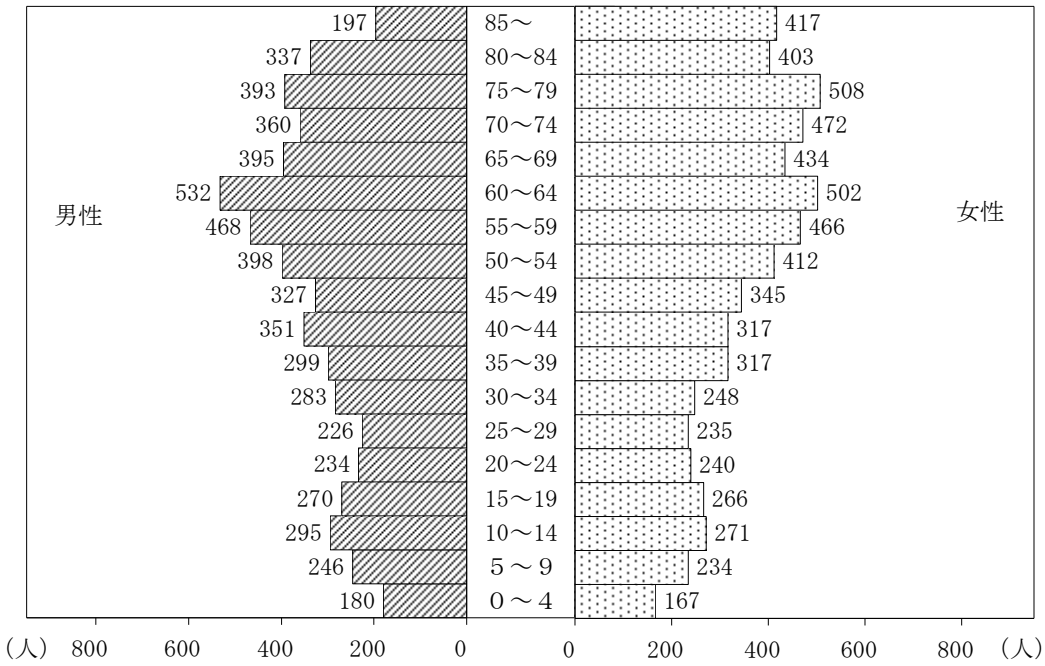
平成22年の本町の人口ピラミッドをみると、団塊世代（昭和22～24年生まれ）が含まれる60～64歳人口が多くなっています。平成２年と比べると、下部がすぼまり上部全体が膨らんできています。

図表２－２　人口ピラミッド

平成２年



平成22年

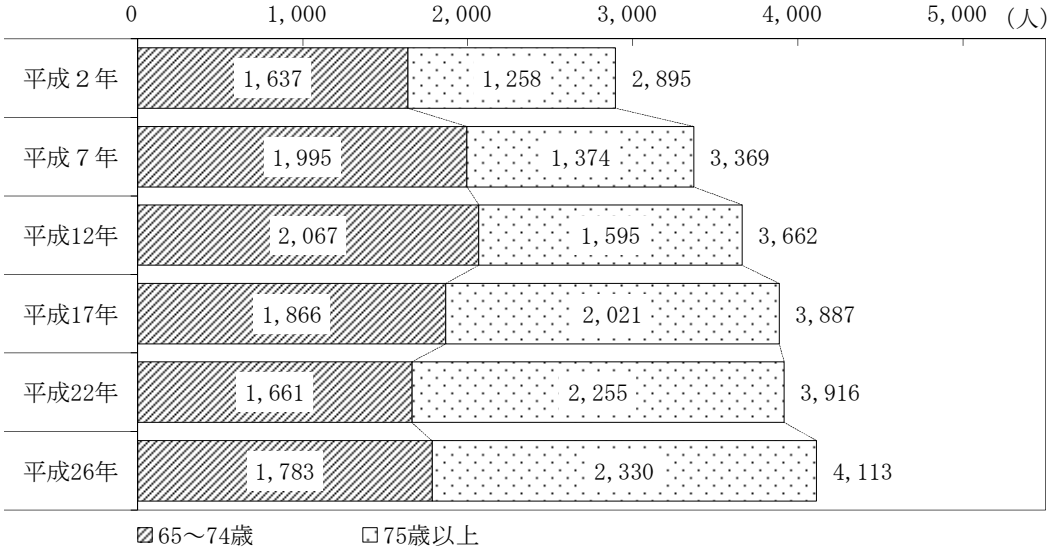


資料：「国勢調査」

(3)　高齢者人口の推移

高齢者人口（65歳以上人口）は、平成２年から平成24年の20年間に1,218人、42.1％増加しています。また、65～74歳の前期高齢者に比べ、75歳以上の後期高齢者の増加が著しく、平成17年以降は前期高齢者数を上回っており、長寿化の傾向を読みとることができます。

図表２－３　高齢者人口の推移

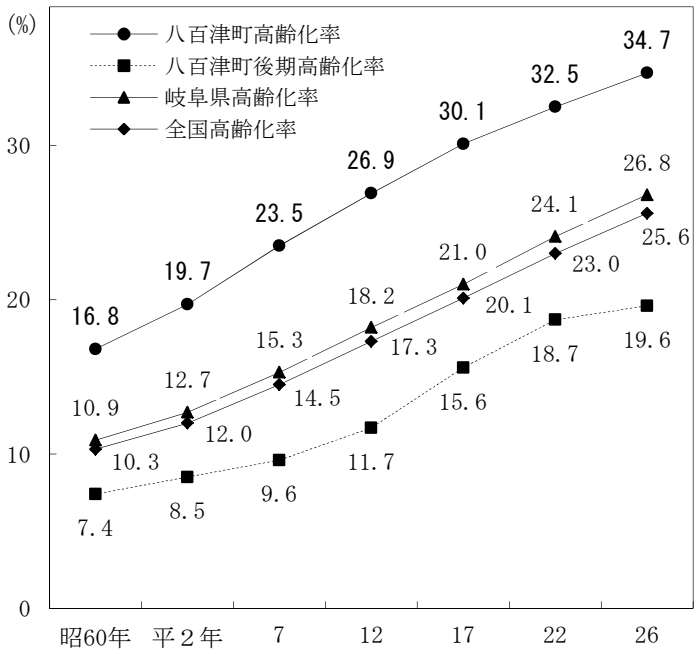


資料：平成２年～平成22年は「国勢調査」、平成26年は４月１日現在の住民基本台帳人口

(4)　高齢化率

当町の高齢化率(総人口に占める65歳以上人口の割合)は全国および岐阜県を大きく上回って推移しています。後期高齢化率(総人口に占める75歳以上人口の割合) は、平成26年４月１日現在19.6％となっています。

図表２－４　高齢化率の推移



資料：昭和60年～平成22年は「国勢調査」、平成26年の全国は４月１日現在の総務省統計局概算値、岐阜県は4月１日現在の「四半期報」滋賀県統計課による推計人口、八百津町は４月１日現在の住民基本台帳人口

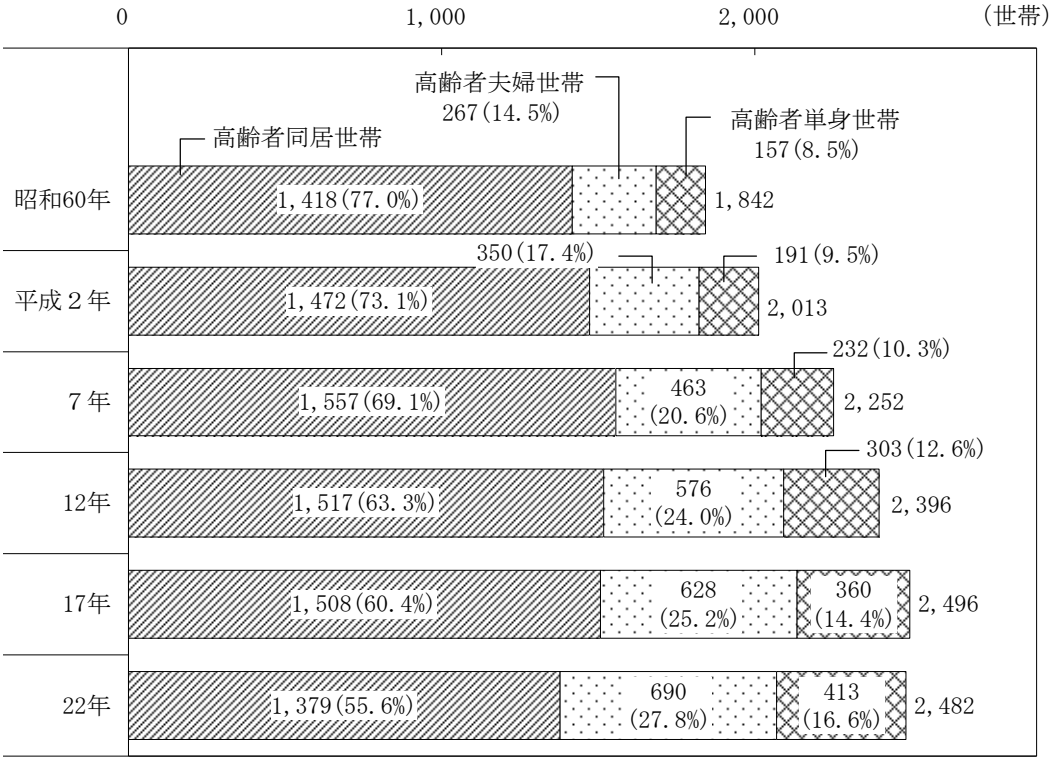
2　高齢者のいる世帯の状況

(1)　高齢者のいる世帯の推移

平成22年の国勢調査によると、本町の高齢者のいる世帯は2,482世帯となっています。平成17年から、わずか14世帯ですが減少に転じています。

このうち、高齢者単身世帯および高齢者夫婦世帯（夫婦のいずれかまたは両方が65歳以上の夫婦のみの世帯）の割合が大幅に増加し、同居世帯の割合が低下しています。

図表２－５　高齢者のいる世帯の推移



資料：「国勢調査」

(2)　高齢者単身世帯

高齢者単身世帯を性別にみると、413人のうち女性が304人(73.6%)を占めています。年齢別では、65～74歳の前期高齢者が144人（34.9%）、75歳以上の後期高齢者が269人（65.1%）となっています。

図表２－６　高齢者単身世帯　　単位：人

区　分	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	計
男　性	16	21	23	32	17	109
女　性	44	63	67	69	61	304
計	60	84	90	101	78	413

資料：「国勢調査」平成22年

(3)　高齢者夫婦世帯

高齢者夫婦世帯を夫婦の年齢別にみると、夫婦ともに75歳未満の世帯が323世帯(46.8%)、夫婦ともに75歳以上の世帯は221世帯(32.0%)となっています。

図表２－７　高齢者夫婦世帯　　単位：世帯

		妻						
		65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	計
夫	65歳未満	－	4	0	0	0	0	4
	65～69歳	110	49	3	2	0	0	164
	70～74歳	14	94	49	7	0	0	164
	75～79歳	1	20	95	49	3	0	168
	80～84歳	0	1	19	77	32	2	131
	85歳以上	0	－	1	12	32	14	59
	計	125	172	167	147	67	16	690

資料：「国勢調査」平成22年

3　住宅の状況

(1)　住宅の所有関係

図表２－８は住宅の所有関係をみたものです。本町の高齢者のいる世帯の持ち家率は、97.2%と非常に高くなっています。また、全国および岐阜県を大きく上回っています（図表２－９）。

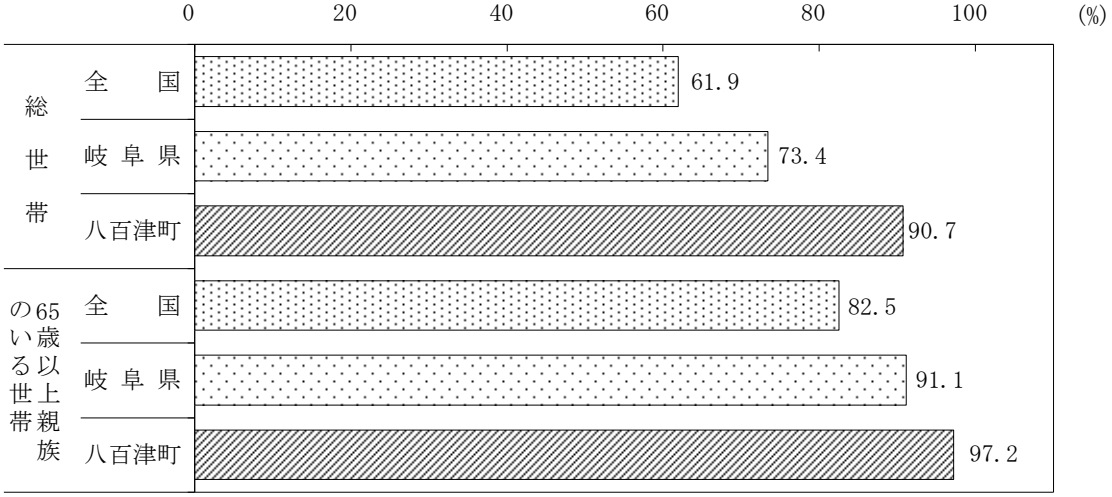
図表２－８　住宅の所有関係　　単位：世帯、（%）

区　分	持ち家	公営・都市再生機構・公社の借家	民営の借家	給与住宅	間借り	その他	計
総世帯	3,614 (90.7)	188 (4.7)	141 (3.5)	33 (0.8)	8 (0.2)	5	3,989
65歳以上親族のいる世帯	2,411 (97.2)	56 (2.3)	8 (0.3)	6 (0.2)	－ －	1	2,482

（注）（　）内は「その他」を除く構成比

資料：「国勢調査」平成22年

図表２－９　持ち家率の全国・県との比較



資料：「国勢調査」平成22年

(2)　平均世帯人員

平均世帯人員を全国および岐阜県と比較すると、本町は総世帯では、全国、岐阜県より多く、高齢者のいる世帯では、岐阜県とほぼ同じ人数となっています。世帯規模は、全国および岐阜県と同様に年々が縮小していく傾向にあります。

先述の同居世帯の減少からもわかるように、今後もこの傾向は続くことが予測され、家庭の介護力は低下していきます。

図表２－10　平均世帯人員　　単位：人

区　　分		平成２年	平成７年	平成12年	平成17年	平成22年
全国	総世帯	2.99	2.82	2.67	2.55	2.42
	うち高齢者のいる世帯	3.48	3.20	2.91	2.69	2.51
岐阜県	総世帯	3.40	3.23	3.07	2.92	2.78
	うち高齢者のいる世帯	4.09	3.82	3.51	3.22	2.97
八百津町	総世帯	3.72	3.54	3.35	3.15	2.96
	うち高齢者のいる世帯	4.04	3.78	3.49	3.24	2.98

資料：「国勢調査」

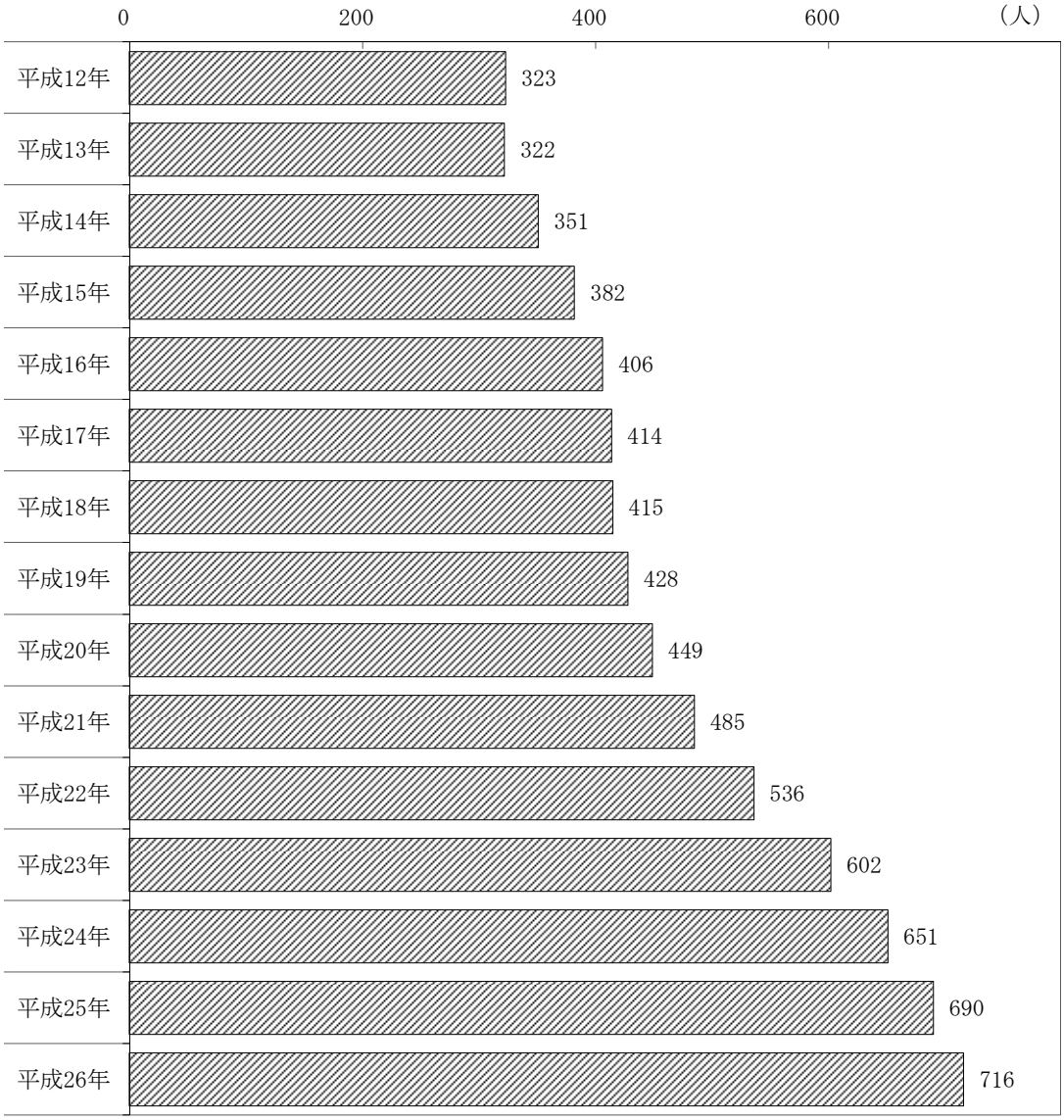
4　要介護者の状況

(1)　要介護認定者数の推移

平成16年に400人を超えてからはわずかの伸びにとどまっていましたが、平成20年以降伸びが大きくなっています（図表２－11）。

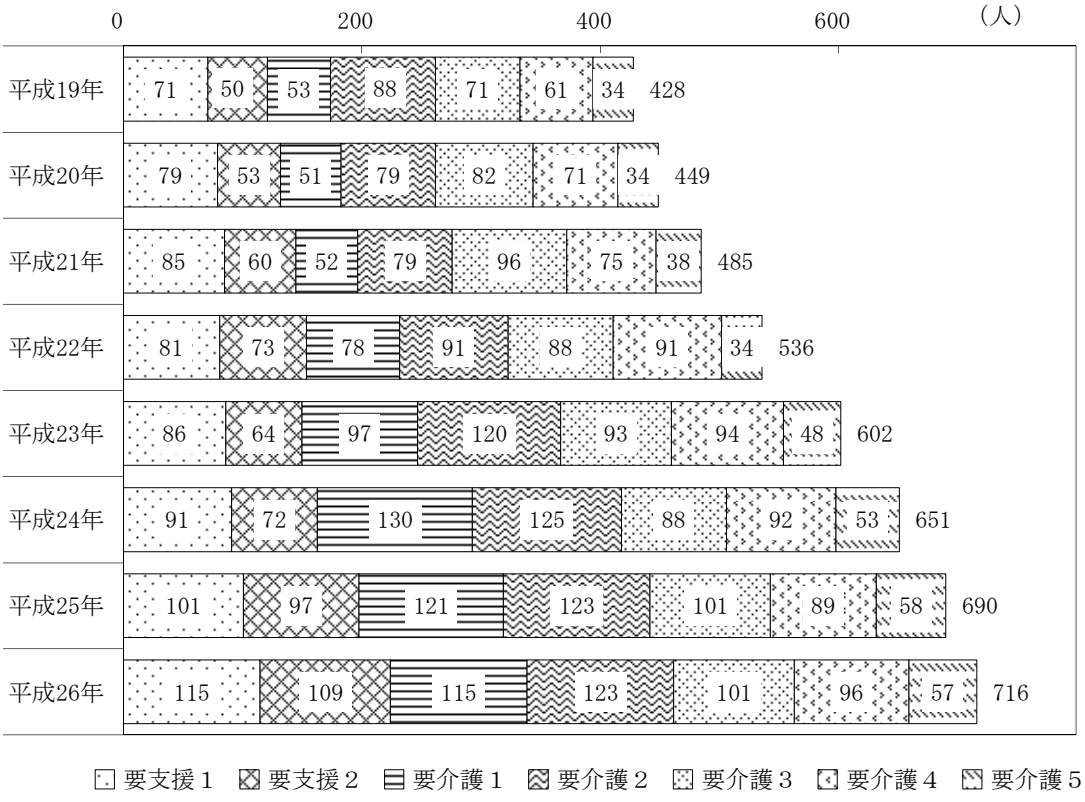
要介護度別では、平成26年は要介護２が123人で最も多くなっています。また、平成19年以降では、要支援２および要介護１が約60人の大幅な増加となっています（図表２－12）。

図表２－11　要介護認定者数の推移



（注）　各年10月、平成26年は４月現在

図表２－12　要介護認定者数の推移（介護度別）



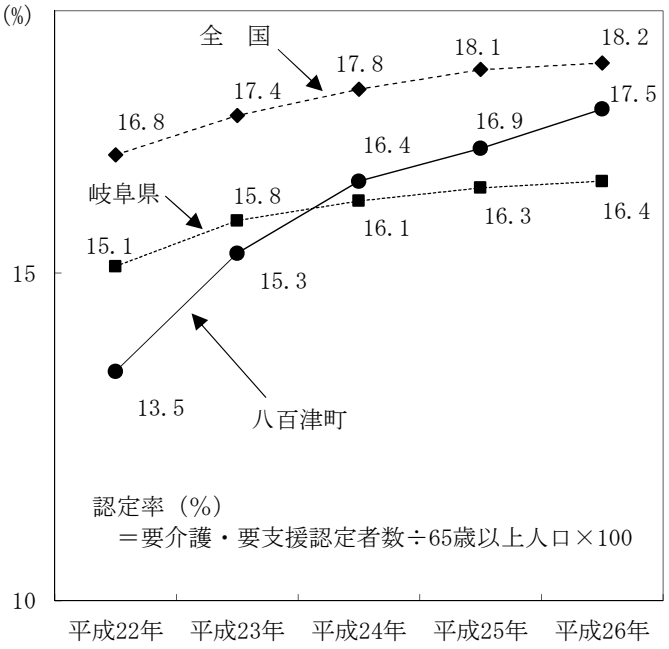
（注）　各年10月、平成26年は４月現在

(2)　認定率の推移

本町の認定率は、平成26年４月現在17.5％となっています。平成23年までは、全国および岐阜県を下回っていましたが、急激に上昇し、平成24年以降は岐阜県より高くなっています。

要因としては、後期高齢者の増加、サービス利用についての意識の変化、家族形態の変化等が考えられます。

図表２－13　認定率の推移



（注）全国・県は各年４月、八百津町は各年10月、26年は４月

(3)　年齢別要介護認定者

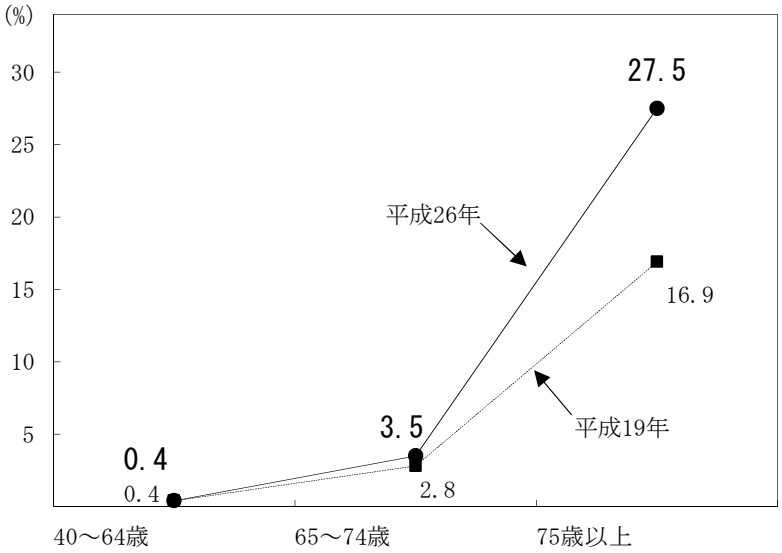
平成26年４月現在の要介護認定者を年齢別・要介護度別にみると、65歳以上の第１号被保険者が702人で、うち640人は75歳以上の後期高齢者です。40～64歳の第２号被保険者は14人となっています（図表２－14）。

年齢階層別に認定率（年齢別人口に対する年齢別要介護認定者の割合）をみると、75歳以上で急激に高くなっています。平成26年の認定率は、平成19年に比べると、65～74歳および75歳以上で上昇しています（図表２－15）。

図表２－14　年齢別要介護認定者数（平成26年４月）　　単位：人

区　分		40～64歳	65歳以上			計
				65～74歳	75歳以上	
要支援	1	0	115	10	105	115
	2	1	108	16	92	109
要介護	1	5	110	6	104	115
	2	6	117	14	103	123
	3	1	100	5	95	101
	4	0	96	9	87	96
	5	1	56	2	54	57
計		14	702	62	640	716

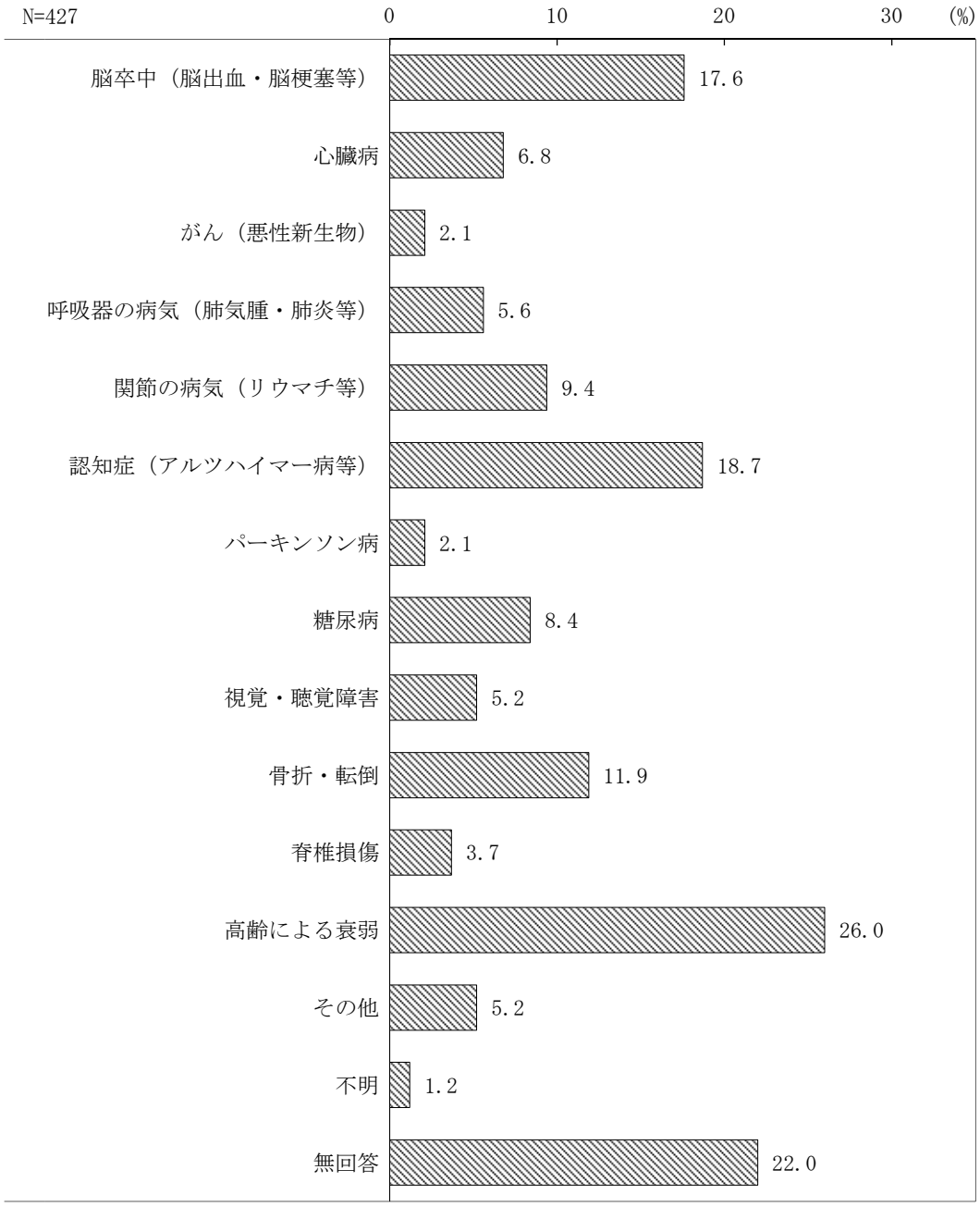
図表２－15　年齢別認定率（平成19年・平成26年）



(4)　介護・介助が必要になった主な原因

アンケートで＜何らかの介護・介助が必要＞と答えた人に、介護・介助が必要になった主な原因をたずねたところ、「高齢による衰弱」が26.0％と最も高くなっています。「認知症（アルツハイマー病等)」「脳卒中（脳出血・脳梗塞等)」「骨折・転倒」も10％以上の比較的高い率です。

図表２－16　介護・介助が必要になった主な原因（複数回答）

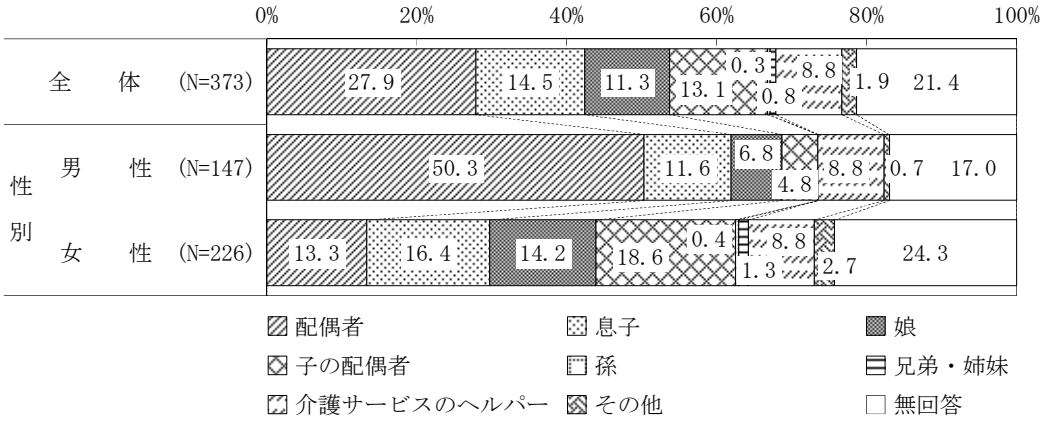


5　介護者の状況

(1)　主な介護者

主な介護者は、男性は「配偶者（妻）」が50.3％と高くなっています。女性は「子の配偶者」「息子」「娘」が14～18％台となっており、合計した子ども世代が50％近くを占めています。

図表２－17　主な介護者

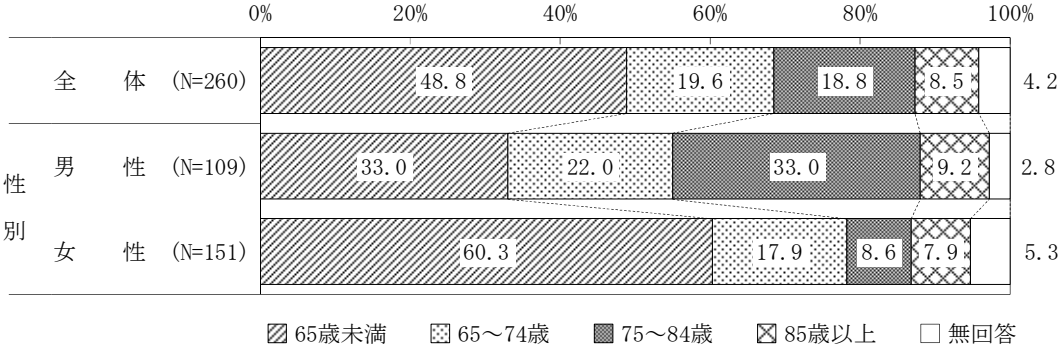


(2)　主な介護者の年齢

ヘルパー以外の主な介護者の年齢は、「65歳未満」が48.8％、前期高齢者が19.6％、後期高齢者が27.3％となっています。

性別にみると、女性は「65歳未満」が60％以上を占めていますが、男性は「65歳未満」「75～84歳」がともに33.0％となっています。

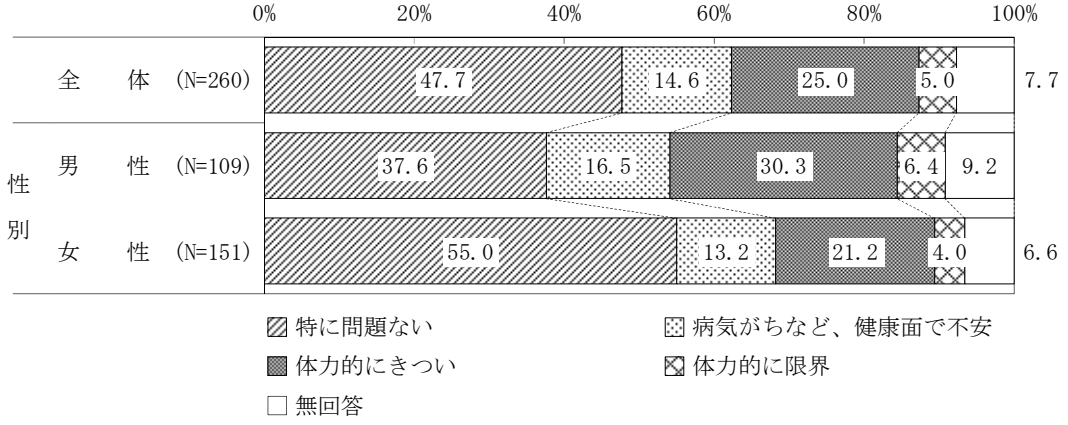
図表２－18　主な介護者の年齢



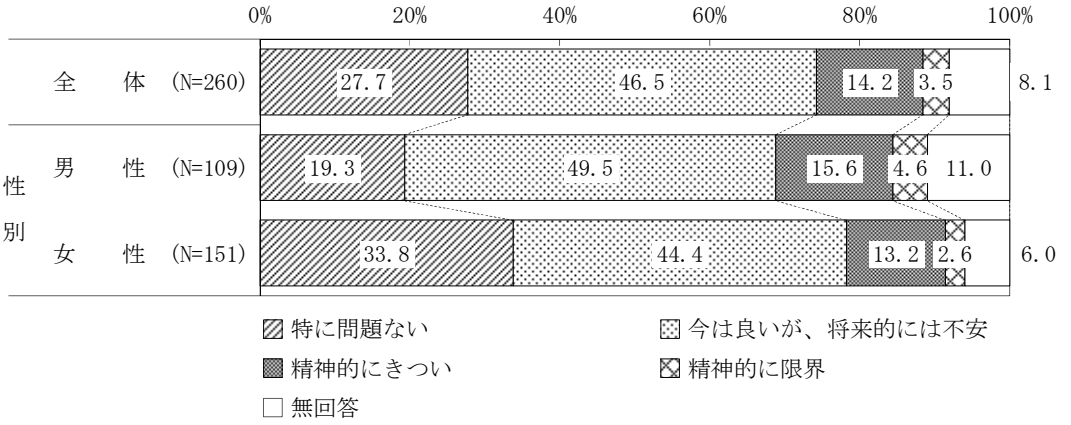
(3)　主な介護者の体力状態

ヘルパー以外の主な介護・介助者の体力面は、「特に問題ない」は47.7%、「病気がちなど、健康面で不安」「体力的にきつい」「体力的に限界」を合計した＜体力的に問題がある＞人は44.6%となっています。

図表２－19　主な介護者の体力状態



(4)　主な介護者の精神状態

ヘルパー以外の主な介護・介助者の精神状態は、「今は良いが、将来的には不安」が46.5%を占めています。「精神的にきつい」「精神的に限界」を合計した＜精神状態に問題がある＞人は17.4%です。「特に問題ない」は27.7%です。

図表２－20　主な介護者の精神状態